

## 【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 教科書に感謝を

山鹿市立山鹿中学校

三年 三森 柚希

「教科書が無償なのは税金のおかげ」という一枚の紙。毎年教科書が配られる前にもうその紙に私は全く興味がなかった。今、教科書は無償なのだから税金は関係ない。その時はそう考えていた。

春休みがもうすぐ終わる。中二の春休みに私は教科書の棚を片付けた。一冊一冊棚から取り出し並べてみる。お世辞にも綺麗だとは言い難いぼろぼろの教科書。ところどころ破れたり表紙が折れ曲がったりしている。だが私はそんな教科書が好きだった。破れているページはそこを何度も見たということだし、表紙が折れ曲がっているということは、その教科書を何度も取り出したということだからだ。ペラペラめくっていくと、青い書き込み、マーカーの線、私が一年間この教科書を片手に勉強してきたというあかしのようを感じる。母は言っていた「教科書に感謝しなさい」と。言われたとき私は何のことだか分からなかった。

しかし、今は分かる。ぼろぼろの教科書が意味しているのは、十分な教育を受けられているということ。それに使われる教科書は税金によって無料で配布されているということ。決してこれは当たり前ではない。多くの子供達が学校に通えていない国があると聞いたことがある。毎日学校に通えること。教科書を使って十分な教育を受けられていること。当たり前のようだが税金によって私達の教育費は賄われているのだ。もっと教科書にも税金にも感謝したいと思った。

少し前まで私は普通に生活していく上で税金を納めるということのメリットを感じていなかった。なぜ税金を納めなければならないのか。メリットは何なのか。目的も分からないうちに納税を義務付けられていては嫌気がさすので、色々と調べるようになった。納税したお金はざっくりとした言葉でいうならば日本国民の健康で豊かな生活の実現のために使われているということがまず分かった。税金のメリットを感じていなかった私だが、あまりにも身近すぎて気付いていなかったのかもしれないと思うようになった。警察、消防、病院、多額の費用を払わなくても済むのは税金のおかげだ。私はこのようなサービスを受けれないと心配したことはない。安心した生活を送れるのは日本国民がみんなで納税しているからだ。いろいろな活動を支えるためには少ない金額かもしれないが、より豊かな暮らしにしているのは間違いない。

納税により自分や周りの人を豊かにし、日本全体をも豊かにしていく事を忘れてはいけない。これからは義務としてだけでなく、そういった目的も考えて税金を納めていきたい。また、私の好きなあの教科書もみんなが私達のことを思って納めてくれた税金で配布されているということをお忘れず、残り約半年、大切に使用していきたい。